

90011, 90013 グリオズガレージ・フロアペイント

理想の仕上がりを実現させるために下記の解説をよく読んで施工してください。特に下塗り、仕上げ塗りの時間設定には十分な確認が必要です。解説にご不明な点がある場合は、PRIDE&JOY (TEL:03-5575-8274 email: shopmaster@webpj.net) までご連絡頂けますようお願いいたします。

製品の保証と定着後の注意事項について

グリオズガレージのフロアペイントは正しい方法によって施工された場合に限り 100%保証をご用意しておりますが、間違った施工方法においては適応されませんので予めご了承ください。

保障の適用範囲は、お買い上げ頂きましたグリオズガレージ・フロアペイントに限ります。再施工前に行う剥離作業に必要な溶剤、用品及びその他費用は、一切保障の範囲には含まれません。また、施工に要した費用一切についても保障の範囲には含まれません。予めご了承ください。

フロアペイント定着後の表面は、油膜や水滴など付着すると非常に滑りやすく危険ですのでご注意ください。屋外に施工する場合は、仕上げ塗りが乾燥する前にクオーツクリスタル入の砂を散布して滑り止め処理を施すことをおすすめします。また、安全面を考慮して、15度以上の傾斜面には施工しないようにしてください。

定着後の表面がぬれている場合は、滑りやすく危険ですので必ず水たまりを除去するようにしてください。

施工前の確認

このフロアペイントは下地と仕上げ塗りを同じペイントで行います。つまり、最高の仕上がりを得るためには二度塗りが必要となります。

本品 1 缶（二液性）をそのまま塗ると 24-26 m²をカバーできますが、2 度塗りですので施工する面積は 12-13 m²に限ります。フラットに見えるコンクリートでも、実際の表面には沢山の凸凹があります。従って、下地塗りには仕上げ塗りより若干多くペイントが必要になります。また、A 液（塗料）と B 液（硬化剤）を混合すると直ちに硬化が始まります。混合後は速やかに塗装するようにしてください。

B 液（硬化剤）を先に開封し、状態を確認して下さい。

万一、開封した B 液（硬化剤）が透明な水あめ状の液体ではなく、変色または結晶化・硬化している場合には施工を中止し、お買上げ店までご連絡頂けますようお願い致します。

B 液（硬化剤）は、鉛筆・割箸などで軽く攪拌できるぐらいの粘度が適切です。

なお、A 液（塗料）と B 液（硬化剤）は混合をする前でも、開封後約 30 日で硬化しますので、開封後はお早めにご使用下さい。

下地と仕上げ塗りの全工程は 24 時間以内に終了させることが理想です。 施工を始める前に塗装する面積に対して十分な量のフロアペイントがあるかを確認してください。

施工の準備

気温とコンクリートの温度が 10℃以上あることを確認してください。当フロアペイントは完全に乾燥、定着した打ちっぱなしのコンクリートに施工すると最高の仕上がりで強度を得る事ができます。施工するコンクリートに塗装やコーティングがある場合は、塗装剥離剤で古い塗装を剥がしてから施工してください。また剥離剤が表面に残るとペイントが強度を得られませんので、確実に洗い流してください。古いペイントの剥離は業務用のサンディングマシンでも行う事が出来ます。この場合もペイントの粉が表面に残らないようによく水で洗い流してください。

古いコンクリートは表面がすでに劣化して崩れやすい状態になっています。その箇所を残して施工してもペイントが直ぐに剥がれてしまいます。そのような不安定な箇所は必ずスクレーパーで剥離してください。施工するコンクリート表面に泥や油が乗っていると施工後の強度は期待できません。必ずコンクリートクリーナー（11178：コンクリートブライトナーまたは、93741：オイル&グリースクリーナー）とデッキブラシで施工表面全体の汚れを落としてから塗装してください。

コンクリートの劣化が激しい場合は、薬品を使って劣化表面を溶解する特殊作業が必要です。この作業は施工業者によって行われるべきですので、10-15 年経過したコンクリートはプロに施工を委託することをお勧めします。

下地塗りについて

コンクリートを洗浄した後の若干湿った状態で塗装を開始してください。コンクリート表面が少し湿っているぐらいが施工には適しています。ただし水溜りは禁物です。コンクリート表面が完全乾燥している場合はかるく散水した方が施工しやすくなります。当フロアペイントは一缶（二液性）で二回塗りを前提で13㎡前後の面積をカバーします。またA液とB液を混合すると直ぐに硬化が始まります。この2点を十分考慮したうえで、1-2時間程度で使い切る量（約半分ずつが理想）を混合しながら施工するようにしてください。A、B液を混合した後は、時間を置かず一気に施工する事が理想です。

混合：A、B液を混合する前に、まずA液だけを十分攪拌します。これは容器全体の濃度が同じになるまで行います。電動ドリルと攪拌棒で2-4分行うのが理想です。AとBを適当な容器で混合するのですが、混合の割合は大変重要ですので先述したとおり、半分ずつ混ぜ合わせることをお勧めします。混合液の攪拌はさらに重要です。攪拌棒で3-5分は十分行って下さい。

下地塗りができたら普通6-8時間において仕上げ塗りを行いますが、気温や湿度によって乾燥の状態も異なります。指を強く押し付けて指紋が残らない程度乾燥していれば、仕上げ塗り可能と判断して下さい。

はじめに床のコーナーをハケで塗り、そのあとローラーを使って内側を塗って行くときれいに仕上がります。ローラーはスポンジタイプか脱毛しない毛の短いタイプをお選びください。塗装は、縦横に動かしながら塗りムラが出ないように効率よく行ってください。ペイントトレイに混合液のペイントを移して作業しますが、ペイントを直接床表面に垂らして行っても構いません。この場合、一本の線を引くようにペイントを垂らすと、ローラーでムラ無く伸ばして行く事ができます。

刷毛の洗浄

下地塗りが終了次第すぐに刷毛と容器を水道水で洗浄してください。2時間以上放置すると塗料が固着して、仕上げ塗りの際に作業がし難くなりますのでご注意ください。また仕上げ塗り後も同様、速やかに用具の洗浄を行ってください。

仕上げ塗り

下地塗りから 6-8 時間経過後、指を強く押し付けて指紋が残らなければ仕上げ塗りを開始することが出来ます。最高の強度を実現させるためには、下地塗り仕上げ塗りの塗料が一体化する必要があります。下地が乾燥（約 24 時間後）してしまうと、塗料が一体化せず強度は半減しますので、時間配分には十分な注意が必要です。

まずゴミなどが表面に乗っていないかしっかり確認してください。目立つごみはスクレーパーやカッターナイフ、ピンセットで取り除いてください。A と B を前述の通り混合し、下地塗りと同じ要領で仕上げ塗りを行ってください。

車を乗り入れる前に

下地と仕上げの塗料が完全に定着するには気温 15 度以上の場合 72 時間（途中気温が 10 度以下になる場合は 7 日間以上）必要です。その間は車を乗り入れないようにしてください。

タッチアップ

48 時間経過したあと再塗装が必要な場合は、80-200 番程度の粗いサンドペーパーで足付けをしたうえで再度塗装してください。

ご使用上のご注意

1. 当フロアペイントは塗布される方の技量、天候、建設用機器などにより、多少仕上がりが具合が変わる場合があります。
2. 古いペンキを剥がす際に、有害物質が出る恐れがありますので、十分ご注意ください。
3. 本品は飲食不可です。食べたり飲んだりしないでください。また、子供の手の届かないところに保管してください。万一、食べたり飲んだりした場合は吐き出させず、直ちに医師の診断を受けてください。誤って目に入ったり顔に付着した場合は、直ちに水で十分洗浄し、異常があれば医師の診断を受けてください。
4. 保管に際しては、直射日光の当たらない冷暗所にて保管してください。
5. 廃棄については、無害ですので一般下水道でも問題ありませんが、できる限り最後まで使い切ってください。
6. 間違ったご使用方法で、万一怪我などをされてもグリオズガレージ及び PRIDE&JOY は責任を負いかねます。この説明書をよくお読みになって、十分ご注意ください。